

分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!
8月16日生まれ
11歳になります
濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗



おたんじょう日おめでとう!
8月16日生まれ
11歳になります
濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)
文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!
8月16日生まれ
11歳になります
濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかわかりました。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん



分校おおしま

大島分校ホームページ



小値賀町立小値賀小学校大島分校
「日本一楽しいあたたかな学校」

令和2年8月9日(日)

文責 教頭 松川祐一

平和学習登校日

本日、8月9日は、「県民祈りの日」です。大島分校でも夏休み中の登校日と設定して、平和学習を行いました。1945年8月9日11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された日から、今年は75年目になります。直接に戦争や被爆体験のお話を聞く機会が少なくなる中、平和学習をとおして、戦争の恐ろしさ、平和の大切さについて考えること、そして命の尊さを改めて学ぶことは大切な機会だと考えます。

今年の平和学習では、「しんちゃんのさんりんしゃ」というアニメ作品を視聴しました。4歳のときに広島で被爆して亡くなった幼い子のお話です。分校の子どもたちは自分たちに近い年齢の子でさえ、原子爆弾(戦争)で命を落としたことを知り、戦争の恐ろしさをより実感したようです。



その後、視聴をとおして、あるいはこれまで学習したことも踏まえて「戦争や原子爆弾について・平和の大切さについて」感想を書き、折り鶴を折りました。



「心を込めて折り鶴を折りました」

翔大



「原子爆弾はたくさんの人たちを殺す恐ろしいものだと思いました。平和がいいです。」

優介



「原子爆弾は何十万人の命をうばったり、けがをさせたりした。原子爆弾がどれだけかわいかったです。」

結海

「新聞にのっていた長崎市が焼かれた写真を見ました。戦争はこわいんだと思いました。」

楓花

「(ビデオでみた) しんちゃんもきみちゃんも、小さいのに亡くなったのでかわいそうだと思います。」

乃愛

「戦争はとても危険で、人の幸せを一瞬でうばってしまう。原子爆弾は作らないで平和に暮らすことがよいと思いました。」

愛音

「戦争はこわい。二度と起きてほしくない。ずっと平和であってほしい。毎日を大切に暮らしたいと思いました。」

舞桜

「原子爆弾だけでなく、戦争が始まることによって人々の生活は変わってしまうということを感じました。そして、幸せとは日常を繰り返していくことだと思いました。」

凧紗

おたんじょう日おめでとう!

8月16日生まれ

11歳になります

濱田舞桜さん

